

祝 完 成

県道54号（相模原愛川）

まわたりばし

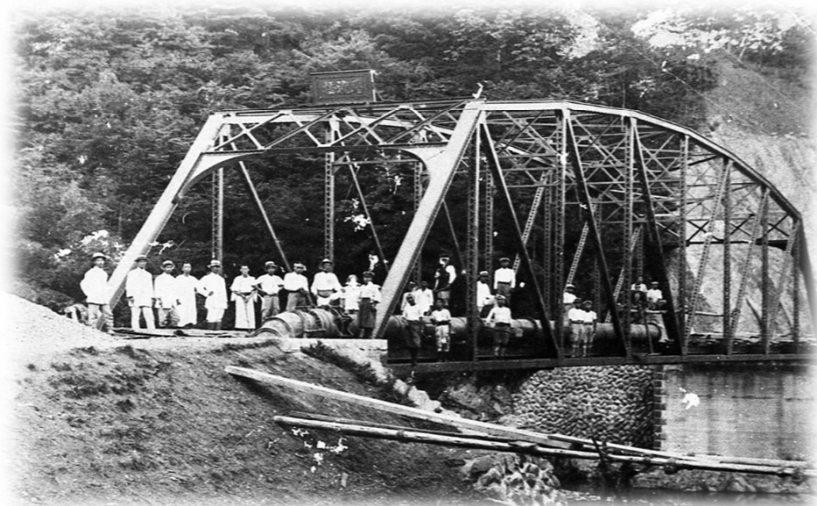
# 馬渡橋

地域の皆様をはじめ、馬渡橋架替事業にご協力いただいた全ての皆様に、心から感謝申し上げます  
平成24年度の事業着手から長い間、誠にありがとうございました



完成した馬渡橋

トラスの馬渡橋  
90年間ありがとう！



旧馬渡橋のトラスの一部は、  
モニュメントに生まれ変わって思い出を次世代へ繋ぎます



県民の安全・安心の確保を目指して  
神奈川県厚木土木事務所

# 新馬渡橋の開通により交通安全の確保や交通利便性の向上が期待されます

## ■はじめに

県道54号（相模原愛川）の馬渡橋架替工事は、平成24年度に事業化し、平成25年度から工事に着手しました。架替工事の実施にあたっては、関係する多くの方々の協力をいただきながら進め、この度、新しい馬渡橋が完成し、開通させることができました。

新しい橋への架け替えにより、総重量20 tまでの大型車両のすれ違いが可能となり、交通安全の確保が図られるとともに、交通利便性の向上が期待されます。

## ■架替工事の流れ

① 旧馬渡橋 (H25)



旧馬渡橋は、一級河川中津川に架かる延長約48mのトラス橋でした。大正15年の架橋から約90年が経過し、通行する車の荷重制限があり、道幅が狭く、車のすれ違いが困難な状況でした。  
(①の写真)

② 仮橋開通 (H26)



平成25年度から馬渡橋の下流側に仮橋をつくり、平成26年11月に仮橋を開通させ、仮橋に交通を切り替えました。  
(②の写真)  
その後、旧馬渡橋を撤去しました。

③ 旧橋撤去 (H26)



⑥ 橋桁の架設 (H29)



平成28年度に、千葉の工場で作成した橋桁を製作しました。  
(⑤の写真)  
平成29年度に橋桁を現場に輸送し、クレーンバント架設工法により架設しました。  
(⑥の写真)

⑤ 橋桁の製作 (H28)



平成27年度に旧馬渡橋の橋台2基を撤去し、新たに橋台を2基つくりました。田代地区側の橋台 (A1) が直接基礎形式、半原地区側の橋台 (A2) が杭基礎形式です。  
(④の写真)

④ 橋台整備 (H27)



田代地区側の橋台 (A1)

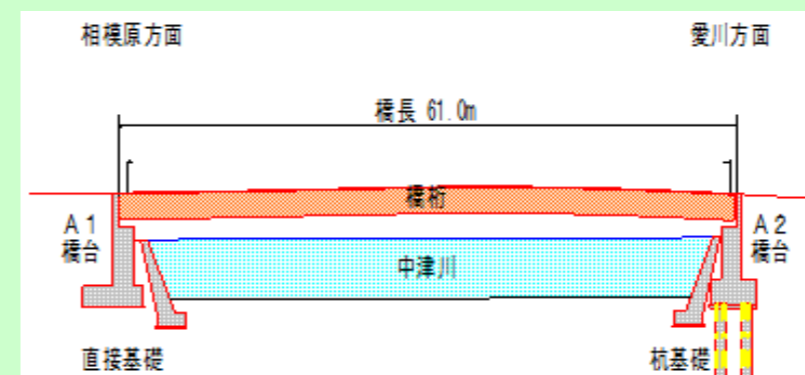
⑦ 馬渡橋完成 (H29)



## ■橋の諸元

道路区分：第3種第3級  
 設計速度：40km/h  
 橋梁形式：鋼単純鋼床版箱桁橋  
 主な材料：耐候性鋼材  
 桁総重量：約400 t  
 橋長：61.0m  
 幅員：10.5m~12.0m  
 (車道：7.0~8.5m、歩道：2.0m)  
 平面線形：R=50m~∞  
 縦断勾配：1.6%~4.8% 横断勾配：2.6%~6.0%

## ■側面図



## ■断面図

